

目次

第1章 「社会と土木の100年ビジョン」の位置づけ	1
1.1 「100周年事業」と「社会と土木の100年ビジョン」	1
1.2 「社会と土木の100年ビジョン」策定の目的	1
1.3 「社会と土木の100年ビジョン」の性格および対象年次	2
1.4 「社会と土木の100年ビジョン」の構成	2
第2章 土木の100年を振り返る	5
2.1 明治時代（1868～1912年）——欧米技術の導入と自主独立への道	5
2.2 大正時代（1912～1926年）——土木学会の設立と日本近代土木の自立	6
2.3 昭和初期（1926～1945年）——技術の錬磨と戦争下の土木	8
2.4 戦後復興期（1945～1955年）——国土復興を支えた土木	9
2.5 高度成長期（1955～1973年）——高度経済成長を支えた土木	11
2.6 安定成長期（1973～1991年）——多極分散型国土と美しい国土形成を支えた土木	13
2.7 ポスト成長期（1991～2013年）——世紀の転換期に新たな役割、価値を模索し 育てる土木	16
2.8 社会インフラの役割	18
第3章 目標とする社会像～未来に対する土木からの提案～	25
3.1 未来予想	25
3.2 目標とする社会像	33
3.3 持続可能な社会の実現に向け土木が取り組む方向性	36
第4章 目標とする社会像の実現化方策	39
4.1 社会安全	39
4.2 環境	44
4.3 交通	51
4.4 エネルギー	58
4.5 水供給・水処理	65
4.6 景観	71

4.7 情 報	75
4.8 食 糧	82
4.9 国土利用・保全	87
4.10 まちづくり	93
4.11 国 際	98
4.12 技術者教育	103
4.13 制 度	107
4.14 総 括	112
第5章 次の100年に向けた土木技術者の役割	117
5.1 100年後も変わらないであろう土木技術者の役割	117
5.2 土木学会で現在までに議論されてきた土木技術者の役割	118
第6章 土木学会の役割	123
6.1 学術・技術の進歩への貢献	123
6.2 社会・人類の発展への貢献	124
6.3 技術者の育成、資質向上	126
6.4 学会の役割を果たすための活動と運営の姿	127
資料編 参考文献リスト	131
資料編 後注リスト	137
参考資料 土木の100年を振り返る	157